

ハインリヒ・ハイネ 著
アルマンゾル

今本幸平 訳
四六判上製／本文 176 頁予定
定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税）
ISBN978-4-588-49041-5 / C0097

本が焼かれるところでは、
いずれ人も焼かれるのです。

ベルリンのベーベル広場にある、ナチス・ドイツの焚書追悼記念碑に刻まれたこの言葉は、ハイネの初期戯曲『アルマンゾル』に登場する台詞として知られる。15世紀末、レコンキスタ後のグラナダを舞台に、イスラム教徒の青年アルマンゾルと、キリスト教徒の恋人スレイマに生じた悲劇。1823年、高まりゆく反ユダヤ主義的空気のなかで書かれた重要作。 【海外文学】

◇ 著者プロフィール

ハインリヒ・ハイネ (Heinrich Heine)

ドイツの詩人、作家。1797年にデュッセルドルフのユダヤ人家庭に生まれ、のちにプロテスタントに改宗した。初期の代表作である詩集『歌の本』の詩は、シューベルトやシューマンなどが作曲した歌曲としても広く知られる。1831年からパリに移住し、ドイツの新聞の通信員として、フランスの文化や社会について報告するジャーナリスティックな文章を執筆。1848年以降は病に侵され、寝たきりの状態になりながらも創作を続け、1856年に死去した。

関連書:ブラッドベリ『華氏 451 度』（ハヤカワ文庫）、フェルナンド・バエス『書物の破壊の世界史』（紀伊國屋書店）など。

FAX: 03-5214-5542

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3
法政大学出版局

TEL: 03-5214-5540

アルマンゾル

ハインリヒ・ハイネ 著／今本幸平 訳
四六判上製／本文 176 頁予定／定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税）
ISBN978-4-588-49041-5 C0097

帖合・番線

ご芳名

部